

# 信州の伝統工芸 リブランディング

リブランディング潜在力全国定量調査

レポート **総合編**

2023年1月 ながのアドビューロ

■ 調査目的：「信州の伝統的工芸品」全体の潜在的魅力度と魅力点を確認し、さらに個々の産地の活性化につながる点を探り  
リブランディングの課題の抽出とリブランディング策を設定するための資料とする。

■ 実査日程：2022年12月13日～15日

■ 調査対象：国内在住の18歳～74歳男女  
信州伝統工芸品が含まれる製品ジャンルに1つ以上関心がある人。（対象者抽出設問参照→ スクリーニング設問と項目

■ 対象エリアとサンプル数： ①長野県内在住 300サンプル  
②首都圏（一都三県）在住 300サンプル  
③長野県・一都三県以外在住 300サンプル  
※①②③を人口比でウェイトバックし「全国推計」として集計

性年齢は①②③  
共通で割付

	18-29歳	30代	40代	50代	60-74歳
男性	30	30	30	30	30
女性	30	30	30	30	30

次にあげた日本の伝統工芸品（長い歴史があり、職人が手作りで作る製品）の中で、あなたご自身が興味や関心がある、または使ってみたいと思うものはありますか？

1. 木製の食器（お盆やお椀、曲げわっぱ など）
2. 漆器（しっき）（漆塗りの食器など）
3. いすやテーブル、タンスなど木製の家具
4. 櫛（くし）など木製の身の回り品
5. 木を加工して作った人形などの小物、アクセサリや美術品（彫刻など）
6. 陶器（食器や花瓶）
7. 和紙の製品（名刺やメモ帳、障子紙など）
8. 水引・紙細工
9. 呉服・和装用品（染物、反物）
10. 竹やつるを編んで作られた入れ物などの身の回り品
11. かまや鋸（のこぎり）などの鉄製の工具
12. 仏壇・仏具
13. ほうき、はたき、ちりとりなどの掃除道具
14. 硯（すずり）など書道の道具
15. この中にはひとつもない

←対象外

## ◇対象者の出現率と推定人口

### 18～74歳人口

①長野県：約150万人  
②一都三県：約2800万人 ※全国：約8900万人

### 伝統工芸品のどれかに関心がある人の割合

①長野県：60% ②一都三県：51% ※全国：54%

### 本調査対象の元となる人口

①長野県：約92万人  
②一都三県：約1400万人 ※全国：約4800万人

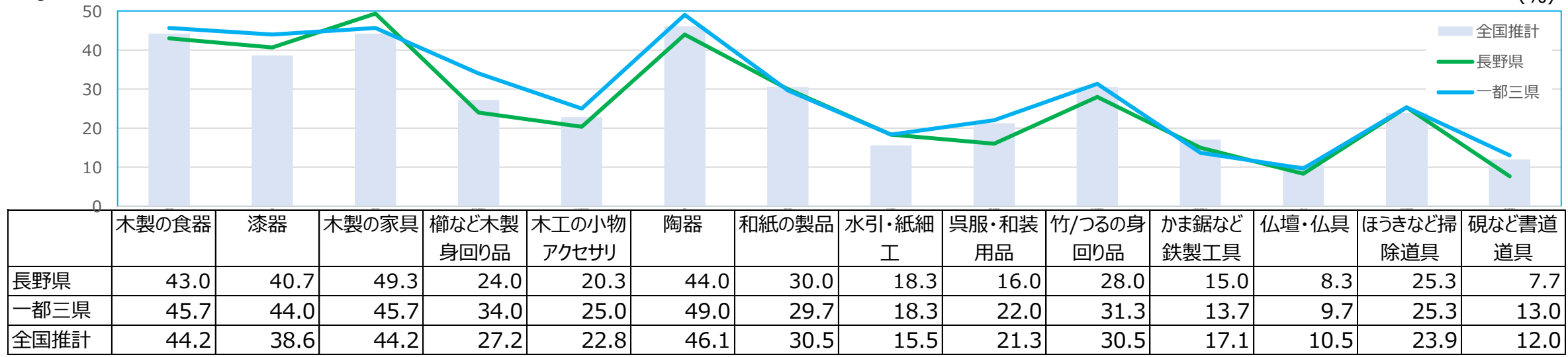
・今回、信州の伝統工芸品が提供している製品ジャンルいずれかに関心がある人は、長野県内で60%、低めの首都圏でも50%ほどで、全国では55%。つまり **信州の伝統工芸品のどれかに興味を持って買ってくれる可能性がある人は、日本国内の半数強** ということになる。

・14のジャンルに対し、平均4つほど関心があるとされ、木製の食器・家具・漆器と陶器が40%強 と、関心を持つ人が多いジャンルである。

ただ、仏壇のように関心者が少ないジャンルでも対象者の10%ほど、計算すると県内で7万人、全国では500万人規模で関心者がいることになる。

→以前のように、誰でもが使うものではなくなった現代でも、**各ジャンルが全国で500万から2000万人規模の顧客予備軍を持っている。**

【SQ2】それぞれの伝統工芸品ジャンルの関心度 (1つ以上関心がある対象者の中で)



それぞれの伝統工芸品ジャンルの関心者 人数換算

(千人)

	木製の食器	漆器	木製の家具	櫛など木製身回り品	木工の小物アクセサリ	陶器	和紙の製品	水引・紙細工	呉服・和装用品	竹/つるの身回り品	かま鋸など鉄製工具	仏壇・仏具	ほうきなど掃除道具	硯など書道道具
長野県	397	375	455	221	188	406	277	169	148	258	138	77	234	71
一都三県	6,512	6,274	6,512	4,848	3,565	6,987	4,230	2,614	3,137	4,468	1,949	1,378	3,612	1,854
全国推計	21,086	18,418	21,076	12,975	10,866	21,991	14,548	7,404	10,131	14,544	8,131	5,025	11,367	5,708

元となる人口：長野県 約92万人 一都三県 約1400万人 全国 約4800万人

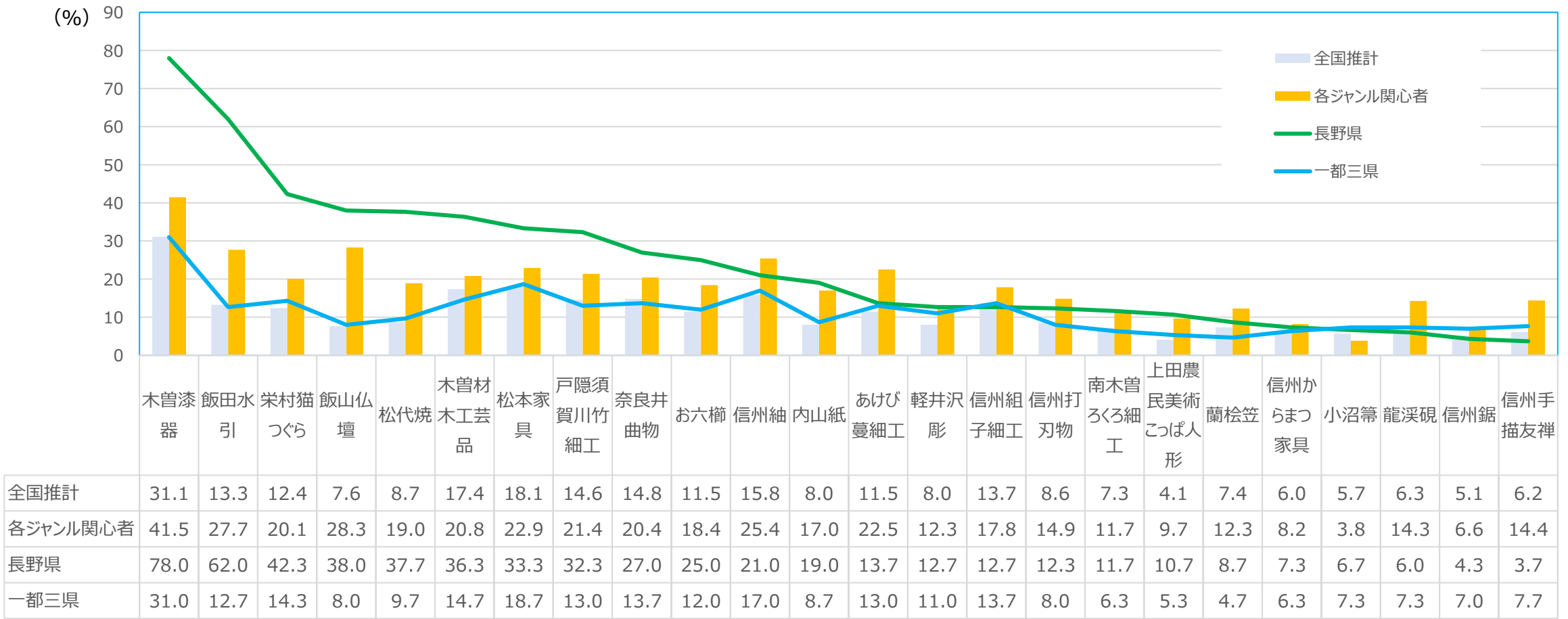
- ・性別・年齢や年収、家族構成など人の属性による関心の違いは、それほど決定的なものはない。
- ・陶器は高齢の男性や高所得者、櫛や和装は若年女性など実感通りに高くなっている。

【SQ2】それぞれの伝統工芸品ジャンルの関心度 (1つ以上関心がある対象者の中で)

		全国推計 (%)													
		木製の食器	漆器	木製の家具	櫛など木製 身回り品	木工の小物 アクセサリ	陶器	和紙の製品	水引・紙細 工	呉服・和装 用品	竹つるの身 回り品	かま鋸など 鉄製工具	仏壇・仏具	ほうきなど掃 除道具	硯など書道 道具
全体		44.2	38.6	44.2	27.2	22.8	46.1	30.5	15.5	21.3	30.5	17.1	10.5	23.9	12.0
性× 年代	男性18-39歳	33.4	44.5	39.5	21.7	23.9	30.6	25.5	13.9	23.4	21.6	19.9	17.2	21.6	14.4
	男性40-50代	40.4	40.2	50.6	16.1	21.5	38.0	26.4	15.2	17.0	25.7	24.7	15.8	29.2	12.3
	男性60歳以上	52.0	43.5	52.6	14.7	18.9	55.7	23.0	3.4	14.1	33.0	36.6	15.5	13.4	11.5
	女性18-39歳	48.2	30.4	34.7	40.3	23.2	50.9	23.5	14.0	27.1	20.0	2.8	3.9	10.5	7.7
	女性40-50代	56.5	32.1	42.4	36.5	22.1	56.3	41.6	21.6	20.8	39.0	7.3	1.6	29.5	9.6
	女性60歳以上	33.6	43.2	45.9	33.4	27.3	46.8	41.6	22.6	25.5	44.9	14.0	10.6	35.8	17.2
未既婚 子の有 無	未婚	44.6	44.1	44.2	36.3	26.1	43.4	36.2	18.9	25.8	28.9	15.9	10.4	21.9	13.5
	既婚・子あり	50.3	32.3	46.3	27.6	21.7	53.7	35.2	25.1	22.0	33.4	10.5	4.8	22.2	14.3
	既婚・子なし	42.7	35.7	43.8	20.1	20.4	46.7	25.1	10.9	17.5	31.2	19.3	11.8	25.7	10.3
世帯 年収	600万未満	46.6	38.1	47.5	30.0	22.9	46.0	32.6	13.8	18.3	28.3	20.5	11.4	21.9	12.1
	～1000万	37.4	39.6	35.8	18.5	16.1	40.4	23.3	13.1	24.6	25.8	15.0	10.5	27.4	11.7
	1000万以上	44.9	46.5	49.4	29.7	29.8	59.1	35.6	23.9	23.8	44.6	18.0	10.4	27.9	12.5

- ・現在、県外でもある程度認知されているのは**木曽漆器**のみ、**飯田水引**は県内では認知されているが、県外では知られていない。
  - ・県内でも、ある程度（1/3以上）認知されているのは、**猫つぐら**、**飯山仏壇**、**松代焼**、**木曽材木工芸品**、**松本家具**、**竹細工**まで。
  - ・その他の伝統工芸は県内でも知っている人はごく一部。
- 後述するが逆に、長野県民でも「**（木曽漆器や飯田水引以外にも）こんなに色々な伝統工芸品があるんだ！**」という気づきに関心と呼ぶことにつながる。

【Q2】信州の伝統工芸品認知（名前のサムネイル画像のみ提示）



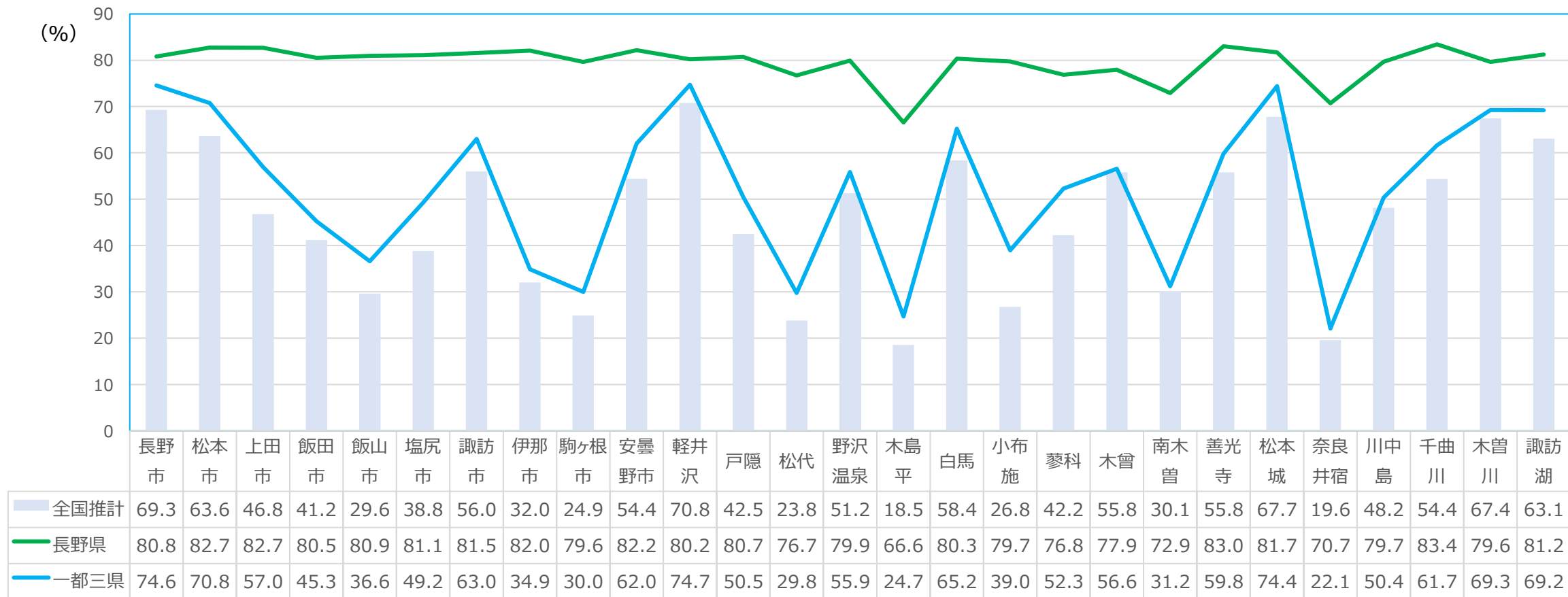
分析のために、県内各地の地名・場所名の認知や来訪経験、来訪意向を同じ対象者に聞いている。

・県内の主な地名は県民対象者は、ほぼ知らない人はいないが、県外になると、飯山市で30%。

→たとえば、飯山仏壇や松代焼と言われても、県外の人だと、それが地名から来てるかもわからないことになるかもしれない。

→**県内でも認知率が低い産地は、まずは県内で知ってもらうことが早道。**

【Q14】信州の地名・名所名認知

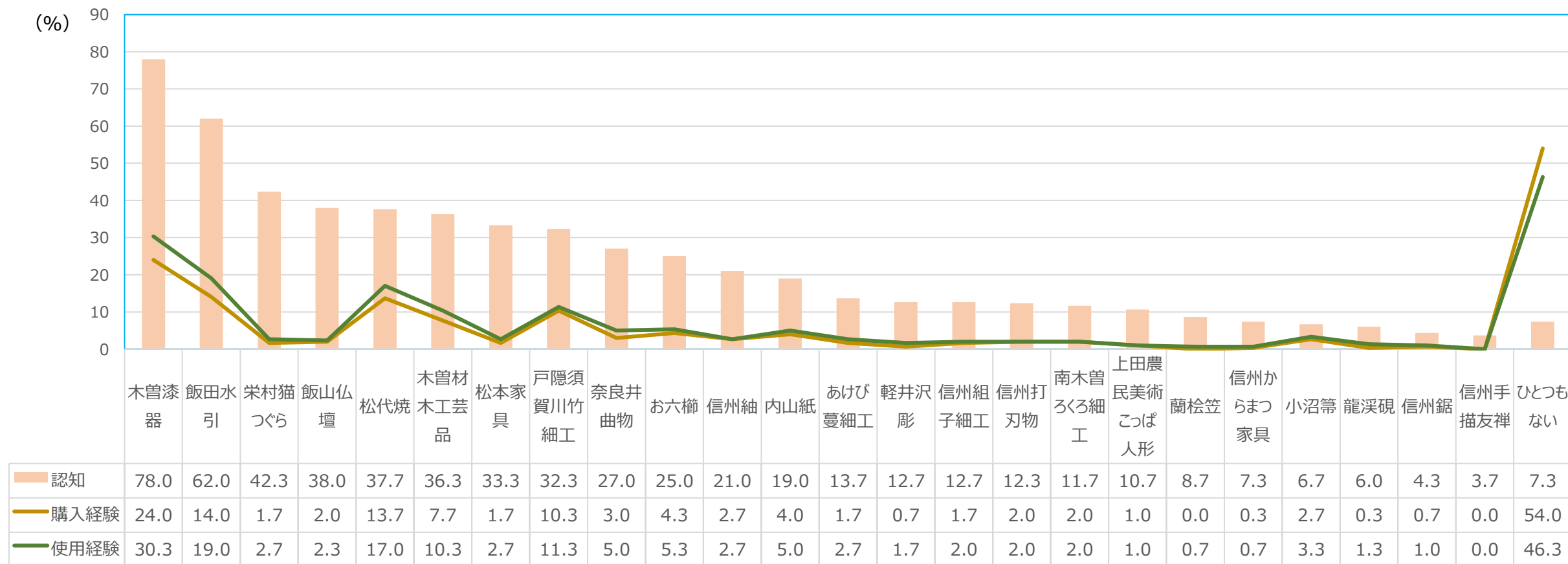


県外では認知が低く分析にならないため、県内対象者で、各産地の使用経験・購入経験を見てみると

・県内でよく知られている木曾漆器と飯田水引は、使ったり買ったりした人も多い。松代焼も使用・購入経験が高い。竹細工も高い。

→これらは「信州人なら、地元のもので見たことがある、使ったことがある」という入り方が可能。

【Q2】信州伝統工芸品の認知・購入経験・使用経験 ※長野県在住対象者（他地域は認知率が低いため、県内在住者中心に参照）



信州の各伝統工芸品が属する製品ジャンル  
どれかに関心を持っている人は  
日本に住む人の中で半分強いて  
**それぞれのジャンルに500万～2000万人の  
顧客・顧客予備軍を持つ市場規模がある。**

ところが  
信州の各伝統工芸の認知度は低く  
**県内でも、木曾漆器・飯田水引以外は、知らない人の方が多い。**



# この現状で 各産地の背景や特長をごく簡単な説明で提示すると、どのような反応があるか？

Q5

次にあげた「信州の伝統工芸品」の説明を読んで、それぞれの伝統工芸品について、あなたのお考えにあてはまるものをすべてお知らせください。

▼ 以下をご覧ください。 ▼

## 【木曾地域の木材を活かした伝統工芸】

長野県木曾地域は、日本三大美林のひとつ「木曾ひのき」を代表し、優れた木材の産地です。その木材のよさを最大限に引き出し、昔から中山道を行き交う旅人の間で愛用された丈夫で美しい木製の伝統工芸品があります。

▼ 複数回答 ★ 必須回答

▲ とじる

0/5

### 1 【木曾材木芸品（きそざいもくこうげいひん）】

枳やまな板、風呂桶、ひのき箆笥など、木曾ひのきをぜいたくに使い、丁寧につくられた日用品です。



### 2 【木曾漆器（きそしき）】

各地の文化財の修復を任せられるほどの技術を持った漆職人が、様々な色合いで作る日本有数の漆器です。丈夫かつ修復でき何十年も使い続けることができます。



### 3 【奈良井曲物（ならいまげもの）】

良質なひのきを材料として、特殊な曲げの技法により作られ、軽くて持ち運びやすく、料理が美味しく感じる曲げわっぱです。



### 4 【お六桶（おろくし）】

横くねりのある木曾のミネバリを材料として手作りで作られ、様々なデザインで海外からも人気がある和風のくしです。



### 5 【南木曽ろくろ組工（なぎそろくろざいく）】

木曾の様々な木を700年以上前から伝わる「ろくろ」技術で熟練した「木地師」たちが、鉢や盆、お椀などの様々な生活用品を手作りしています。



## 【信州の歴史が育てた上質な家具と陶器】

信州の歴史から始まり、その後も優れた技術を導入し改良され続け、現代生活にぬくもりをもたらす、上質で愛用のわく家具や陶器があります。

▼ 複数回答 ★ 必須回答

▲ とじる

0/5

### 1 【松本家具（まつもとかく）】

1582年の松本城築城で集められた職人から始まり、その後、民芸運動の一翼として、和家具だけでなく洋家具も製造されました。信州の広葉樹の柔らかさを活かし、機能もデザインも優れた家具です。



### 2 【軽井沢彫（かるいざわぼり）】

明治時代に外国人の別荘地として栄えた軽井沢で、日本の彫の技法(日光彫)で、透彫の桜を描く桜彫りを施して製造された家具です。外国人にも日本人にも、その独創的なデザインが評価され、現在でも発展し続けています。



### 3 【信州組子細工（しんしゅうくみございく）】

江戸時代以前から神社仏閣や城で使われた組子細工は、信州では明治以降、旅館や料亭で建具として使われ、一般家庭にも普及しました。釘や接着剤を使わず、木の特性を活かしてすべて手作業で組み上げられる美しい模様の内装用の建具です。



### 4 【信州からまつ家具（しんしゅうからまつかく）】

戦後、長野県で多く植林された「からまつ」を活用するため、50年以上にわたる研究で実用化した柔らかい風合いが特長の家具です。



### 5 【松代焼（まつしろやき）】

江戸時代、松代の真田藩の奨励ではじまり発展しました。松代温泉の温泉水を使う独自の技法が生み出す独特の青緑色の光沢で、ひとつとして同じ色合いのない、美しく親しみやすい花瓶や食器などの陶器です。



## 【自然がくれる天然素材で、自分に家族に社会にいいものを取り入れよう】

信州の山や田畑がくれる木、竹、つる、わら。それらの天然素材を伝統的な技法で丁寧に編み上げることで、人にも環境にも優しく、美学的な伝統工芸品があります。

▼ 複数回答 ★ 必須回答

▲ とじる

0/4

### 1 【戸隠竹細工・須賀川竹細工（とがくしたけざいく・すがかわたけざいく）】

雪深い山で育つ根曲がり竹のしなやかさと丈夫さを活かして、材料づくりから編み上げまで一人の職人がつくる竹製品です。部分ごとに材料と技法を組み合わせ、丈夫で使えば使うほど独特の風合いが出ます。



### 2 【あけび蓑細工（あけびつるざいく）】

野沢温泉周辺の野山にある丈夫で弾力のある「あけび」の蓑を使って作られます。使い込むほど風合いが変わる、美しさと堅牢さを兼ね備えています。



### 3 【栄村猫つぐら（さかえむらねこつぐら）】

栄村の稲作で出る稲わらで作られるようになった「猫つぐら」。天然素材で、人にも猫にも安全で優しく暖かいことが多くの愛猫家から支持されています。



### 4 【藤検笠（あらざびのきがさ）】

木曾ひのきを素材に編み込まれる笠です。かぶれば森林浴、晴れの日は柔らかく日と風を通し、雨が降ればしまつて水を通しません。農作業や釣りなどの屋外での作業時に愛用されています。



# この現状で 各産地の背景や特長をごく簡単な説明で提示すると、どのような反応があるか？

## 【思いが違う、思いが伝わる、人を結ぶ品々】

人と人のつながりを大切にする昔からの生活の中で活用されてきたものがあります。信州の伝統工芸品にも、人の思いを伝えることで、再評価されているものがあります。

▼ 複数回答 ★ 必須回答

▲ とじる

0/4

### 1 【飯田水引（いいたみずひき）】

金封などに使われる水引は、飯田市が全国の約7割の量を生産しています。現在では金封だけでなく、小物やアクセサリとして使われています。手作業で結ばれる、美しく、送り手の思いが伝わる品です。



### 2 【内山紙（うちやまがみ）】

長野県北郎で、天然の楮を用い、手すきで作られる和紙です。障子紙を主にして発展しましたが、普通の紙にはない柔らかく独自の風合いがあり、名刺や手紙、包装紙として使えば、人の思いが伝わります。地元の小学校では、生徒が自分で作った内山紙を卒業証書としています。



### 3 【飯山仏壇（いいやまぶつたん）】

飯山市は市内に由緒ある寺社が多く、仏教への信仰があつい地域です。それに沿って、豊富な木材や漆塗りに適した気象をいかして仏壇づくりが盛んになりました。様々な技術が集結して作られる仏壇は、現在では、小型のものを含め、様々な種類があり、各人の生活様式にあった形で故人への思いをつなぐことができます。



### 4 【上田農民美術・こっば人形（うえだのうみんびじゅつ・こっばにんぎょう）】

洋画家の山本朝（やまもとあかね）が北畠の素朴な作風を上田市周辺の人々に伝える。農家が農具を彫刻刀に持ち替えてつくったのが始まりです。人々や動物の日常を表現したこっば人形を代表に、美術品から小物、アクセサリまで、作品には風土や人柄が息づく、素朴さの中にひと思いが伝わります。



## 【自分の手でやるとわかる、伝統的な道具の優れた機能性】

鎌（かま）で草を刈る、鋸で木を切る、筆（ぼし）で部編を描く、鏝で墨をすって文字を書く・・・現代では自分の手でやる機会が少なくなった作業を、信州の伝統的な道具を使ってやってみると、気持ちいいほどうまくできる喜びがあります。

▼ 複数回答 ★ 必須回答

▲ とじる

0/4

### 1 【信州打刃物（しんしゅううちばもの）】

川中島合戦で使う刀づくりからつながる、よくされる刃物です。草刈りや料理等で使ってみると、その切れ味に驚かされます。使いやすく手になじみ、長く使い続けることができます。



### 2 【信州磁（しんしゅうのこぎり）】

約200年前から始まり、伝統の技術で手作りされる信州産の磁は、今も全国で優れた品質が評価され、気持ちいいほど木をうまくきることができます。



### 3 【小沼箒（おぬまほうき）】

豪雪地帯の飯山市の副業としてつくられ始められた「ほうき」です。地元のホウキグサを使用して丁寧につくられ、自分で掃くことが楽しくなるような、使いやすい丈夫な逸品です。



### 4 【龍溪硯（りゅうけいすずり）】

辰野町の川でしか取れない黒雲母粘板岩を使用した「すずり」です。余色が漂い、うまく墨をすれることはもちろん、墨をすりながら見ている美しい芸術品です。



## 【木の豊かな産地だからこそできる草木染の技法で、優しい色合いの呉服を】

信州は養蚕が盛んで、絹織物業も発達しました。そこで、各地に自生する様々な木の皮から染料を煮出し、その草木染で糸を染めたり手書きで模様を描くことで作られる反物や呉服が、現代でも支持されています。

▼ 複数回答 ★ 必須回答

▲ とじる

0/2

### 1 【信州紬（しんしゅうつむぎ）】

上田紬、伊那紬などの信州紬は糸作りから始まります。その自家製の糸を、リンゴなど様々な草木の皮から出る色を使う「草木染」という独自の手法で染めて、丁寧に織ってつくられる紬です。優しい色合いと独自のつやが美しく、長く愛用できる着物になります。



### 2 【信州手描友禅（しんしゅうてがきゆうぜん）】

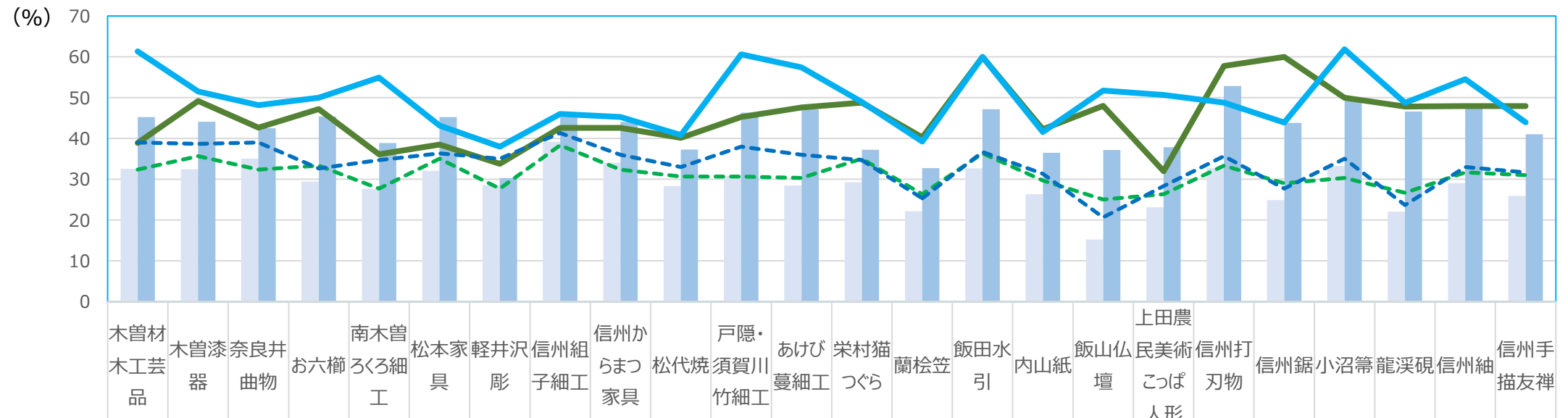
江戸時代初期から、信州の城下町で栄えた、格調高い着物となる絹織物です。独自の草木染の染料で熟練技の手書きで繊細な模様を描いてつくられ、華やかさの中に、自然を感じられる優しい色合いが特長です。



- ・説明後の関心度は20%～30%、それぞれのジャンルの関心者では40%前後と高くなる。
- ・木曽材木工芸品、南木曽ろくろ細工、戸隠・須賀川竹細工、あけび蔓細工、こっぱ人形、小沼箒などは、首都圏在住者でより関心が高いが長野県内と首都圏のジャンル関心者では、概ね50%前後の人が関心を持った。

→それぞれの伝統工芸品のことを少し知るだけでも関心を持ってもらえる潜在力がある。

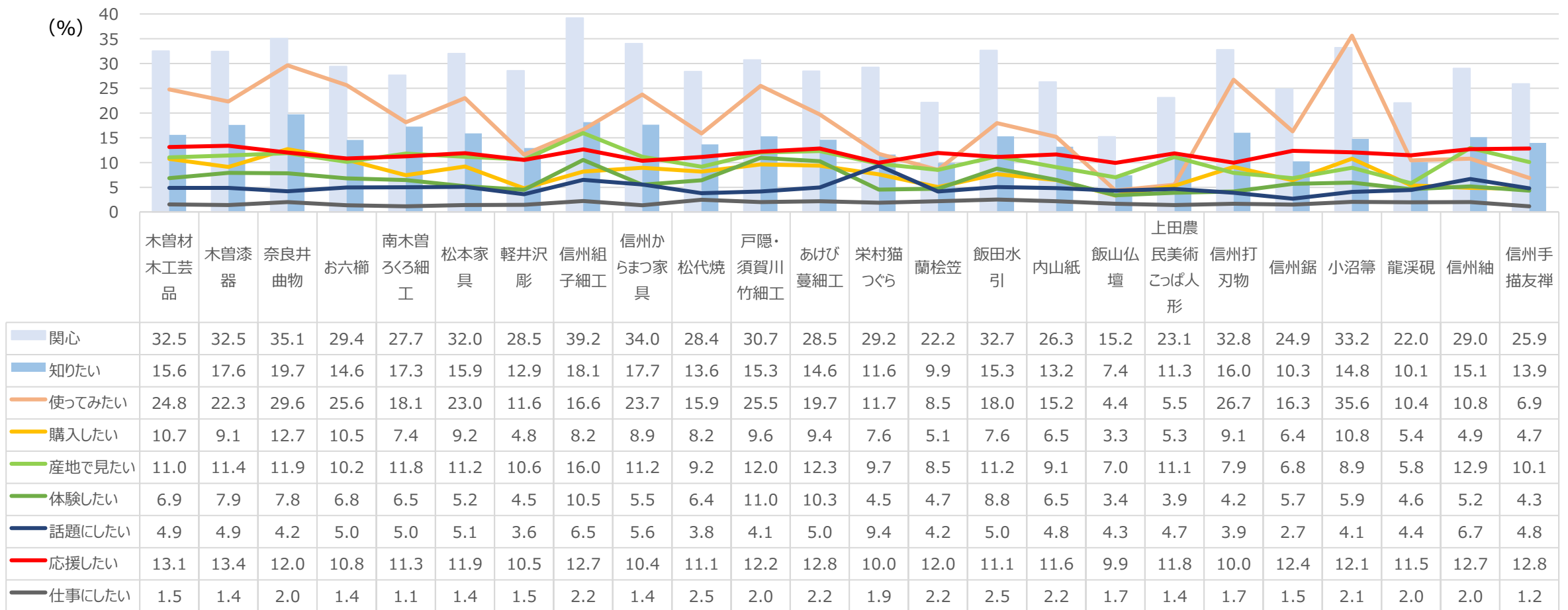
【Q5-Q10】各信州伝統工芸品への関心（説明後）



	木曽材木工芸品	木曽漆器	奈良井曲物	お六櫛	南木曽ろくろ細工	松本家具	軽井沢彫	信州組子細工	信州からまつ家具	松代焼	戸隠・須賀川竹細工	あけび蔓細工	栄村猫つぐら	蘭絵笠	飯田水引	内山紙	飯山仏壇	上田農民美術こっぱ人形	信州打刃物	信州鋸	小沼箒	龍溪硯	信州紬	信州手描友禅
全国推計	32.5	32.5	35.1	29.4	27.7	32.0	28.5	39.2	34.0	28.4	30.7	28.5	29.2	22.2	32.7	26.3	15.2	23.1	32.8	24.9	33.2	22.0	29.0	25.9
全国ジャンル関心	45.3	44.1	42.5	45.4	38.9	45.3	30.3	45.2	44.0	37.3	46.3	47.1	37.2	32.7	47.2	36.5	37.2	37.8	52.9	43.8	49.4	46.6	48.2	41.0
長野県	32.3	35.7	32.3	33.3	27.7	35.0	27.7	38.3	32.3	30.7	30.7	30.3	35.0	26.3	36.3	29.7	25.0	26.3	33.3	29.0	30.3	26.7	31.7	31.0
長野ジャンル関心	38.9	49.2	42.6	47.2	36.1	38.5	33.8	42.6	42.6	40.2	45.2	47.6	48.8	40.3	60.0	42.2	48.0	31.9	57.8	60.0	50.0	47.8	47.9	47.9
一都三県	39.0	38.7	39.0	32.7	34.7	36.3	35.0	41.3	36.0	33.0	38.0	36.0	34.7	25.3	36.7	31.3	20.7	28.3	35.7	27.7	35.0	23.7	33.0	31.7
一都三県ジャンル関心	61.3	51.5	48.2	50.0	54.9	43.1	38.0	46.0	45.3	40.8	60.6	57.4	48.9	39.2	60.0	41.6	51.7	50.7	48.8	43.9	61.8	48.7	54.5	43.9

- ・詳しく知りたいという人は関心を持った人の概ね半数弱。
  - ・むしろ、使ってみたいというスコアが高い産地がある。箒や曲物、竹細工、家具などが使用意向が高くなる。
  - ・「話題にしたい」は猫つぐら以外は5%ほどでさほど高くないが、「応援したい」はいずれも10%強で、差が少ない。
- **他の産地と合わせて知ること、どの産地も「応援したい」人たちを迎えることができそう。**

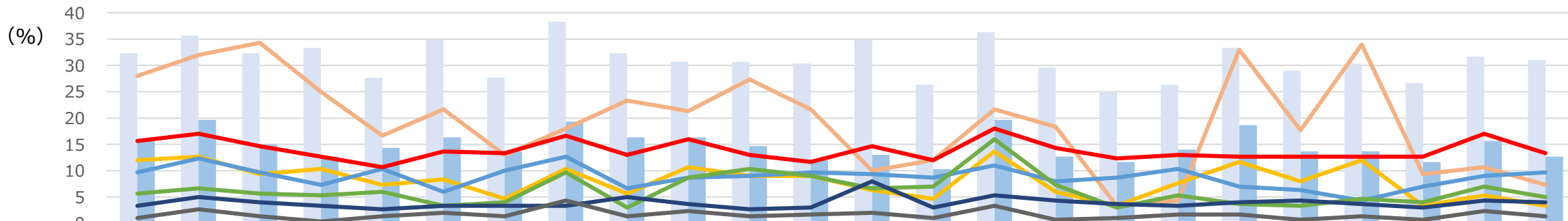
【Q5-Q10】各信州伝統工芸品に感じたこと（説明後） 全国推計



・長野県在住者でも、各指標の水準が大きく高いわけではないが、「応援したい」スコアは15%前後と、一段高くなっている。

→**リブランディングによって、地元の伝統工芸を応援する人たちを生み出す可能性がある。**

【Q5-Q10】各信州伝統工芸品に感じたこと（説明後）長野県内

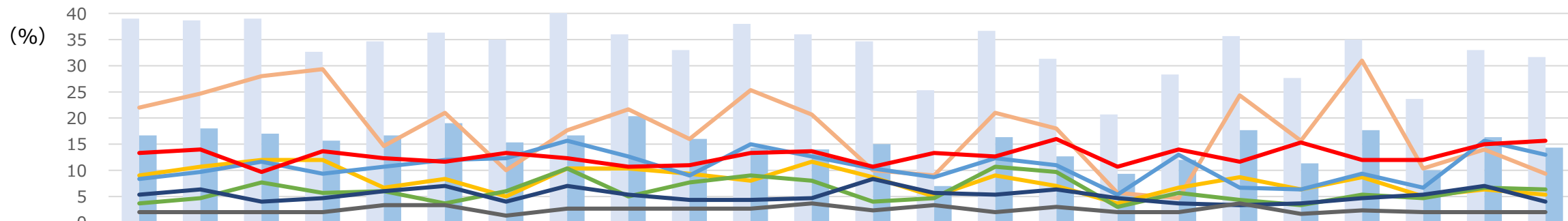


	木曾材 木工芸 品	木曾漆 器	奈良井 曲物	お六櫛	南木曾 ろくろ細 工	松本家 具	軽井沢 彫	信州組 子細工	信州か らまつ家 具	松代焼	戸隠・ 須賀川 竹細工	あけび 蔓細工	栄村猫 つぐら	蘭絵笠	飯田水 引	内山紙	飯山仏 壇	上田農 民美術 こっぱ人 形	信州打 刃物	信州鋸	小沼箒	龍溪硯	信州袖	信州手 描友禅
関心	32.3	35.7	32.3	33.3	27.7	35.0	27.7	38.3	32.3	30.7	30.7	30.3	35.0	26.3	36.3	29.7	25.0	26.3	33.3	29.0	30.3	26.7	31.7	31.0
知りたい	16.0	19.7	15.0	12.7	14.3	16.3	13.7	19.3	16.3	16.3	14.7	12.0	13.0	10.3	19.7	12.7	11.7	14.0	18.7	13.7	13.7	11.7	15.7	12.7
使ってみいたい	28.0	32.0	34.3	25.0	16.7	21.7	13.0	18.0	23.3	21.3	27.3	21.7	10.0	12.0	21.7	18.3	3.3	4.3	33.0	17.7	34.0	9.3	10.7	7.3
購入したい	12.0	12.7	9.3	10.3	7.3	8.3	4.7	10.3	5.7	10.7	9.0	9.0	6.3	4.7	13.7	6.0	3.3	7.7	11.7	8.0	12.0	3.3	5.3	3.3
産地で見たい	9.7	12.3	9.7	7.3	10.3	6.0	10.0	12.7	6.7	8.7	9.0	9.7	9.3	8.7	11.0	8.0	8.7	10.3	7.0	6.3	4.3	7.0	9.0	9.7
体験したい	5.7	6.7	5.7	5.3	6.0	3.3	4.0	9.7	3.0	8.7	10.3	9.0	6.7	7.0	16.0	7.3	3.0	5.3	3.7	3.3	4.7	4.0	7.0	5.0
話題にしたい	3.3	5.0	4.0	3.3	2.7	3.3	3.3	3.3	5.0	3.7	2.7	3.0	8.0	3.0	5.3	4.3	3.7	3.3	4.0	4.3	3.7	3.0	4.3	4.0
応援したい	15.7	17.0	14.7	12.7	10.7	13.7	13.3	16.7	13.0	16.0	13.0	11.7	14.7	12.0	18.0	14.3	12.3	13.0	12.7	12.7	12.7	12.7	17.0	13.3
仕事にしたい	1.0	2.7	1.3	0.3	1.3	2.0	1.3	4.3	1.3	2.3	1.3	1.7	2.0	1.0	3.3	0.7	1.0	1.7	1.7	0.7	1.3	0.7	2.3	1.3

・首都圏在住者の興味以降の指標は、長野県内と同レベルで高い。

→産地によって異なってくるが、**エリアとしては長野県内の次に、首都圏は重要なターゲットとなる。**

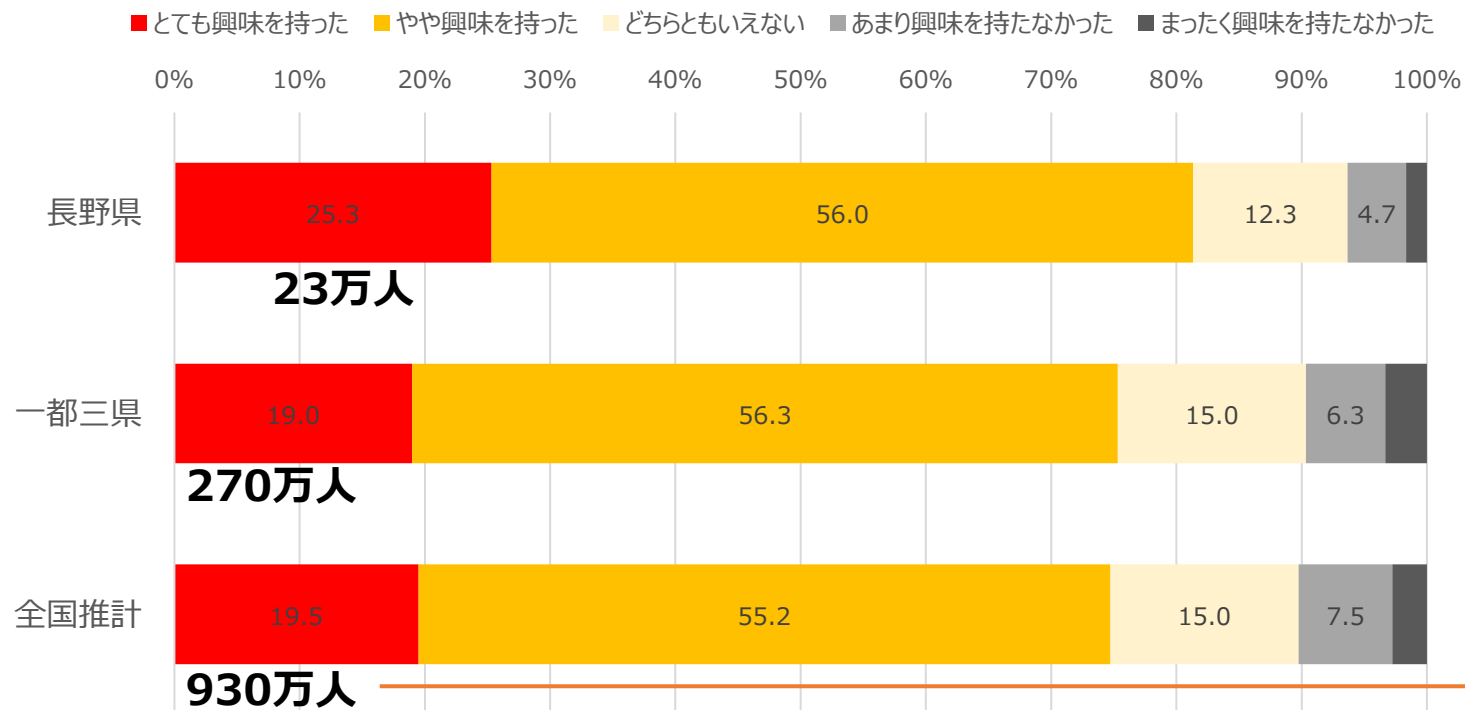
【Q5-Q10】各信州伝統工芸品に感じたこと（説明後）



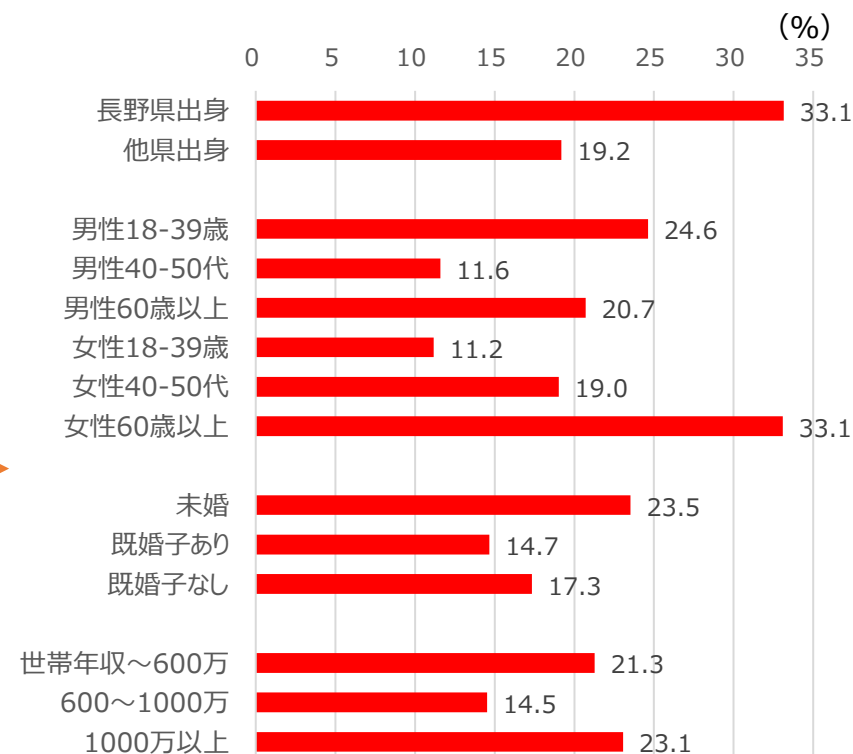
	木曾材 木工芸 品	木曾漆 器	奈良井 曲物	お六櫛	南木曾 ろくろ細 工	松本家 具	軽井沢 彫	信州組 子細工	信州か らまつ家 具	松代焼	戸隠・ 須賀川 竹細工	あけび 蔓細工	栄村猫 つぐら	蘭絵笠	飯田水 引	内山紙	飯山仏 壇	上田農 民美術 こっぱ人 形	信州打 刃物	信州鋸	小沼箒	龍溪硯	信州袖	信州手 描友禅
関心	39.0	38.7	39.0	32.7	34.7	36.3	35.0	41.3	36.0	33.0	38.0	36.0	34.7	25.3	36.7	31.3	20.7	28.3	35.7	27.7	35.0	23.7	33.0	31.7
知りたい	16.7	18.0	17.0	15.7	16.7	19.0	15.3	16.7	20.3	16.0	14.3	14.0	15.0	7.0	16.3	12.7	9.3	12.0	17.7	11.3	17.7	10.0	16.3	14.3
使ってみたい	22.0	24.7	28.0	29.3	14.7	21.0	10.0	17.7	21.7	16.0	25.3	20.7	10.0	9.0	21.0	18.0	5.7	4.7	24.3	15.7	31.0	10.3	14.0	9.3
購入したい	9.0	10.7	12.0	12.0	6.7	8.3	5.0	10.3	10.3	9.3	8.0	11.7	8.7	5.0	9.0	7.0	3.7	6.7	8.7	6.3	8.7	5.0	6.3	5.3
産地で見たい	8.3	9.7	11.7	9.3	10.7	12.0	12.3	15.7	12.7	9.0	15.0	12.7	10.3	8.7	12.3	11.0	5.3	13.0	6.7	6.3	9.3	6.7	15.7	13.0
体験したい	3.7	4.7	7.7	5.7	6.0	3.7	6.0	10.3	5.0	7.7	9.0	8.0	4.0	4.7	10.7	9.7	3.0	5.7	4.3	3.3	5.3	4.7	6.7	6.3
話題にしたい	5.3	6.3	4.0	4.7	6.0	7.0	4.0	7.0	5.3	4.3	4.3	4.7	8.3	5.7	5.3	6.3	4.7	3.7	3.3	3.7	4.7	5.3	7.0	4.0
応援したい	13.3	14.0	9.7	13.7	12.3	11.7	13.3	12.3	10.7	11.0	13.3	13.7	10.7	13.3	12.7	16.0	10.7	14.0	11.7	15.3	12.0	12.0	15.0	15.7
仕事にしたい	2.0	2.0	2.0	2.0	3.3	3.3	1.3	2.7	2.7	2.7	2.7	3.7	2.3	3.3	2.0	3.0	2.0	2.0	3.7	1.7	2.3	2.0	2.0	2.0

- ・ 5 分類にまとめて提示し、産地への反応を聞いた後、信州の伝統工芸に対し、全体としてどの程度興味を持ったかを聞くと  
 とても興味を持った + やや興味を持った 人は、調査対象者中、県内で約80%、県外で約75%と多くの方が多少なりとも興味を持った。  
 ※ここまでの興味度があれば、明確に興味を示した「**とても興味を持った**」人たちをターゲットとして、**今後リブランディングを推進**すべき。
- ・ 「とても興味を持った人」たちは、男性では若年、女性では高齢の方が高いなど多少の差はあるが、基本属性で絞り込むほどではなさそう。

## 【Q12】信州の伝統工芸への総合的な興味度



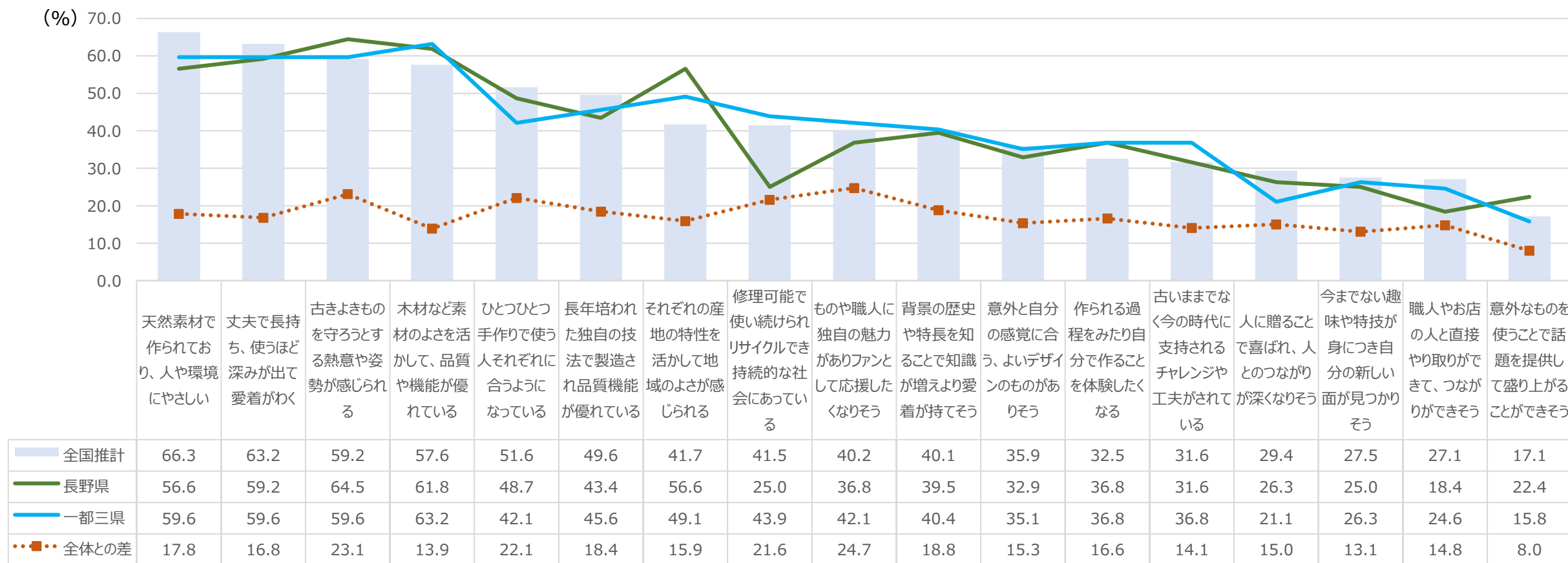
## 【Q12】「とても興味を持った」人たちのプロフィール



とても興味を持った人たちが、信州の伝統工芸の魅力点として、どの項目を上げているかを見ると

- ・「天然素材で人・環境にやさしい」「丈夫で長持ち、使うほど愛着がわく」「古きよきものを守る姿勢」「素材のよさで品質・機能が優れている」の順で高い。
- ・「もの・職人に独自の魅力で応援したくなる」「リサイクル可能でサステナブル」といった点は、全体との差が大きく、この点が評価されれば、強い関心につながりやすい。
- ・県内では「それぞれの産地の特性を活かして地域のよさが感じられる」が高くなる。  
当然ながら、県内在住者は県内各地の認知が高く、故郷のよさを再発見する機会になるのだろう。

【Q11】「とても興味を持った」人たちの信州の伝統工芸の魅力点





# 信州の伝統工芸品 とても興味を持った人の自由回答（抜粋）

自由回答は様々なポジティブな記入があったが

- ・県内では、**地元には知らなかった様々な工芸品があることへの驚きとそこから探究心**がわき、現地訪問や体験への意向の記入が多く見られた。
- ・県外では、イメージ通り自然豊かな信州ならではの工芸品に対する理解と「**機会をみて見てみたい**」という反応が多い。

## 【Q13】信州の伝統工芸への自由意見（抜粋）

都道府県	出身地	性別	年齢	「信州の伝統工芸品」について思ったこと、知りたいこと、要望など
長野県	上田市	男性	28	昔からの技術を残す努力がみられてとても良いと思った。
長野県	長野市	男性	32	人の手で作ったものは、それぞれ味があり非常に魅力的だと思う
長野県	小諸市	男性	46	知らない工芸品がたくさんあって興味深いものでした。ノギリやほうきなどは是非現地に行き購入したいと思います
長野県	須坂、小布施、高	男性	58	信州の工芸品の情報をネットで調べて、ドライブ、旅行の企画に取り入れて品物を見て体験などしてみたい。
長野県	上伊那	男性	59	永代まで受け継がれていかなければならない伝統だと感じた。
長野県	県外	男性	59	古きを訪ねて新しきを知る、奥深さがある
長野県	県外	女性	20	非常に組子細工に興味があるので、ぜひ制作体験をしてみたい。その際よくある1時間などのコースではなく、1ヶ月など長期の合宿形式で弟子入りなどができるコースがあると面白いし、自分は参加したいと思う。
長野県	上伊那	女性	22	昔からの伝統工芸はすごく魅力があり自分でも作ってみたいと思いました！
長野県	松本市	女性	23	現代の子でも、興味があるものが多い
長野県	飯田市	女性	38	飯田出身なので水引しかあまり知りませんでしたが、木で作った伝統工芸品など、たくさんあるんだということがわかりました。ただ、時代に合った感じはせず、古臭い感じもあるなと思いました。もう少し現代風にアレンジすればもっと売れそうなものも多かったです。
長野県	県外	女性	44	弟子入りしたいとは思っているものの給料の面や職場環境の事を考えると敷居が高いなと感じてしまう。人材育成にどのようなものがあるのか興味があります。
長野県	県外	女性	47	観光地や食の案内だけでなく、伝統工芸品についてもSNSなどで積極的に発信してほしい。アンテナショップでも紹介してほしい。
長野県	飯田市	女性	54	普段から旅が好きで地域それぞれの歴史や生活文化に触れる事が多いので信州長野県の歴史にも興味があり何故その地域に根付いたのかとか地域性のある人間の歴史が現れていると思うので何故この工芸品が発達したのか？知りたいと思いました。
長野県	長野市	女性	61	木曾漆器の技術を生かしたアクセサリやインテリア、グラスなどがあることを知って関心が高まった。現地で環境ごと体験したいと思う。
長野県	下伊那郡	女性	74	信州に住んでいながらも、知らなかった工芸品などがあり、とても興味が湧きました。いつか機会があったら現地に赴いて伝統工芸品を生で見て、触ったり作ったりするような体験が出来たら楽しいだろうし嬉しいと思います。実際に欲しいと思ったら購入もしたいです。

都道府県	出身地	性別	年齢	「信州の伝統工芸品」について思ったこと、知りたいこと、要望など
埼玉県	埼玉県	男性	21	実際に商品を見てみたかった。また制作している動画が見てみたい。
東京都	東京都	男性	38	昔ながらの伝統を守り続けている人に対し、購入することで貢献してみたいと思った。
神奈川県	神奈川県	男性	49	伝統工芸品の制作者と知り合いになりたい。
埼玉県	埼玉県	男性	58	実際に現地に行き実物を見たい
埼玉県	埼玉県	女性	20	あまり知らなかったけど説明文等を読んでとても興味が湧きました。特に水引や、りんごを使って染める器や漆器等は現地に行き見てみたいです。
東京都	福島県	女性	22	昔の古き良きものを現代のデザインにアレンジしたものがあれば見てみたい。
埼玉県	埼玉県	女性	30	伝統や歴史を感じながら使えば使うほど味が出る、ずっと大切に使い続けていきたいと思えるものに出来る機会が多くあるのが信州の工芸品だと感じました。今まで知らなかったものも今回多く知ることができて興味が湧きました
神奈川県	山梨県	女性	36	こんなに多いと思わなかった。生活に密着した工芸品ばかりなので、ほうきやまげわっぱや桶など、長くいいものを使いたいと思った
神奈川県	神奈川県	女性	53	長野には何度も行ったことがありますが、いつもお土産屋さんでは、食べ物ばかり探してしまっていて、工芸品は目に入っていないでした。今度からお店でチェックしようと思います。
東京都	徳島県	女性	58	やはり、信州、長野県の伝統工芸品は、とても温かみのある品物が多いと思いました。木材を使った物が多いので、とても、地球や環境に優しいと思いました。使っている間に、自分好みに馴染んでくるのも楽しみの一つだと思いました。
北海道	北海道	男性	47	古いものが見直されている。長野は山奥というイメージがある。伝統を最先端に。
愛知県	大分県	男性	73	木曾檜の工芸品は生活を豊かにする物が多い。
大阪府	兵庫県	男性	74	山に囲まれた信州だけに樹木にまつわる工芸品が多いですね。こんなに多くの工芸品があるとは思っていませんでした。すごく興味を惹かれます。
広島県	広島県	女性	44	長野や、伝統工芸品についての紹介のちょっとした冊子などが駅や、空港などに置いてあり、簡単に手に入れば、もっと知ることが出来るのではないかと思います。興味を持って、次の旅行は長野に行きみたいと思うから。
静岡県	静岡県	女性	47	昔ながらの素朴さがあるが、時代に合わせていく工夫もしているのだろうと思う。陶芸と着付けをやっていたので、とても興味深い。
愛知県	愛知県	女性	60	デパートの物産展で何気なく見ただけの信州の工芸品も、改めてスポットをあてて見直してみると結構ある！と感じた。受け継がれてきている伝統工芸品は、ぜひ今後にも、良き伝統としてぜひつなげていただきたい。
熊本県	熊本県	女性	60	自然に恵まれた土地柄が木を使った家具や漆器 紙製品 竹 かざら製品など昔から伝わる工芸品が多くあり一度訪れて自分の目で見てみたいと思いました

信州の各伝統工芸品を、いくつかの分類にまとめて提示すると  
**ごく簡単な説明でも、充分興味を持ってもらえる** ことが確認できた。

その後の使用意向や購入意向は、各産地によって差が出るが  
どの産地もブランディングにつながる**応援したいという気持ちを持つ人が**  
**県内で15%ほど、県外でも10%ほど出てくる**ことも確認できた。

結果、**信州の伝統工芸品全体に対し、とても興味を持つ人が**  
**県内で25%ほど、県外で20%ほど出てくる**ことがわかった。

信州の伝統工芸に、とても興味を持ってもらうためには  
**自然豊かな信州ならではの天然素材の優しさ**  
を理解がしやすい入り口として

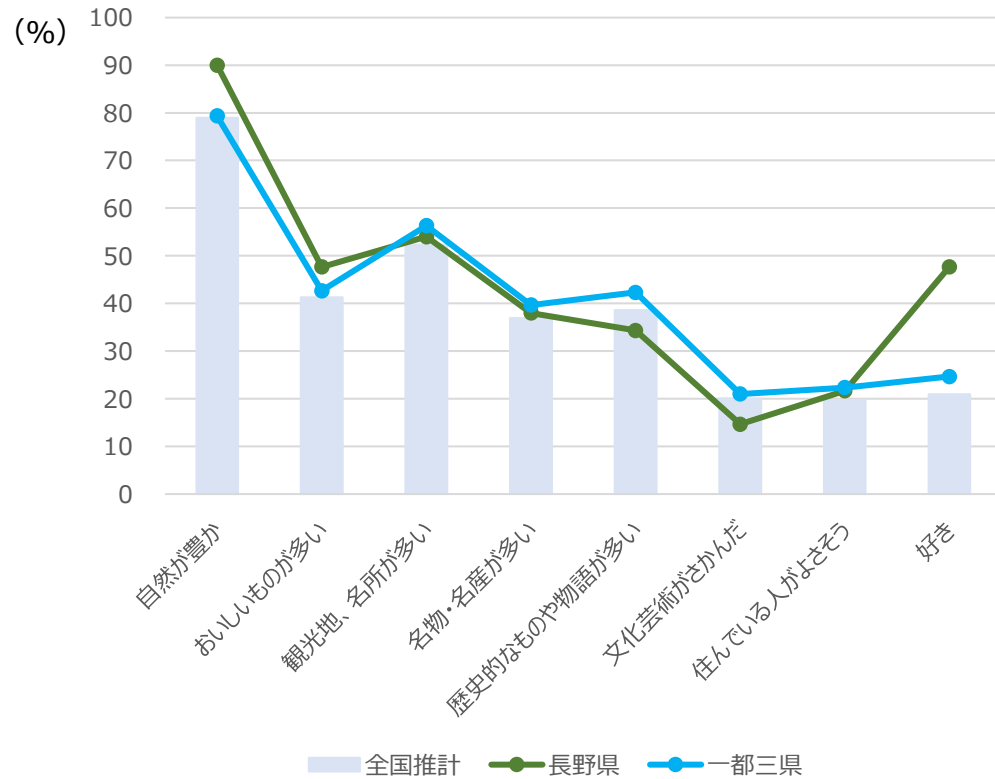
まずは県内で  
**それぞれの産地の特性を活かした隠れた銘品があること**

さらにそこから首都圏を中心に県外にも  
**手作りで、自分に合ったものが見つかり**  
**サステナブルなこれからの社会にあって**  
**それぞれの独自の個性に、思わず応援したくなる**  
から、信州の伝統工芸に関心を持つ という働きかけが有効そうである。

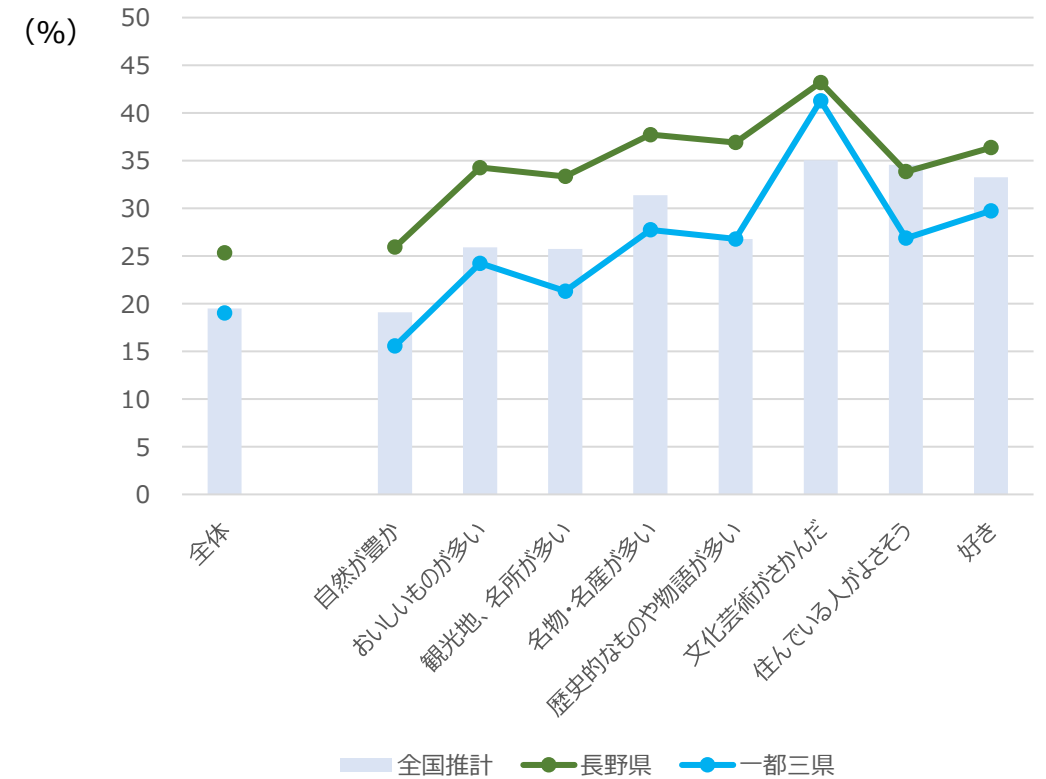
- ・信州には、県内外を問わず、ほとんどの人が「自然が豊か」というイメージを持っている。なので、それだけでは伝統工芸に対しても特に関心は高まらない。
- ・「名物・名産が多い」「歴史的なものや物語が多い」イメージ、さらには「文化芸術が盛ん」なイメージがあると、より関心を持ってもらえる割合が高くなるが信州が文化芸術が盛んなイメージは県民でもあまり持っていない。

→ **文化芸術と関連して伝統工芸品を訴求することで信州自体のブランディングを相乗効果をもたらす可能性がある。**

【Q15】信州（長野県）のイメージ

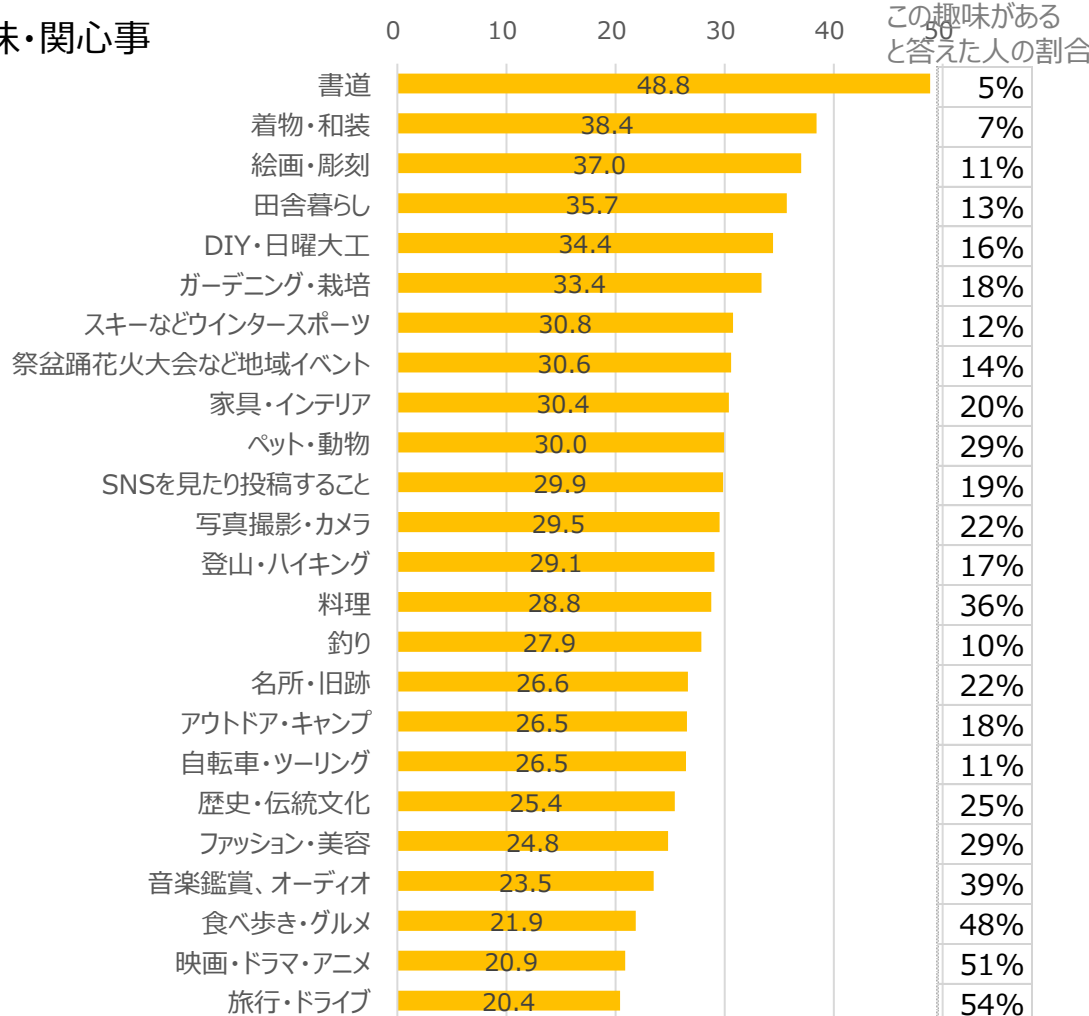


【Q11】信州に以下のイメージを持っている人が信州の伝統工芸にとっても関心を持った割合

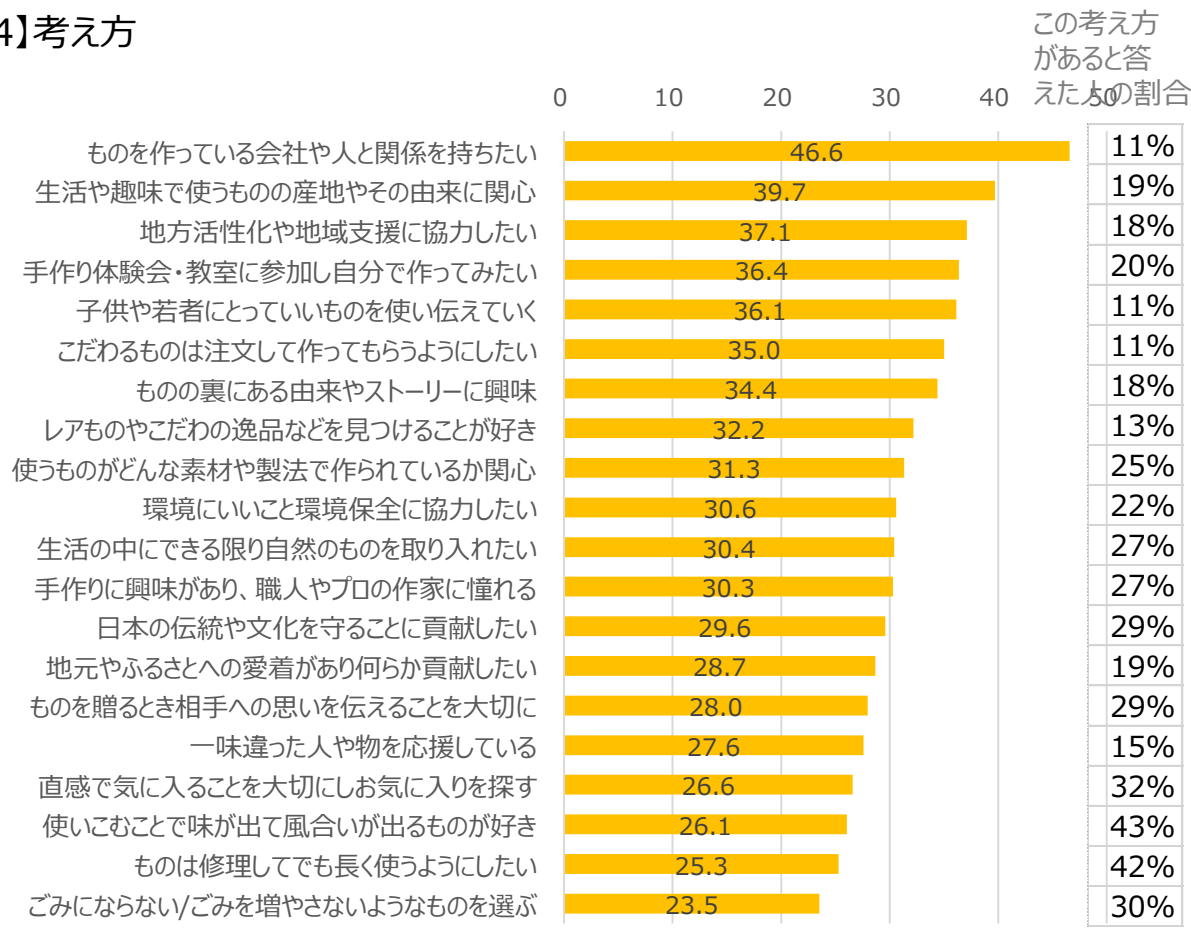


- ・書道や着物は、そのものが伝統的なので当然として、絵画・彫刻や田舎暮らし、DIYやガーデニングなど、信州の伝統工芸全体に高い確率で関心を持ってもらえる接点が様々ありそうである。
- ・それぞれの考え方を持っている人も意識が高い方と思われるので、信州の伝統工芸に関心を持ってもらえる割合は全体に高くなるが「ものをつくっている会社や人と関係を持ちたい」「地方活性化に協力したい」「自分で作ってみたい」など、自身が行動を起こしたいと考えている人がより関心を持ちやすそう。

## 【Q3】趣味・関心事

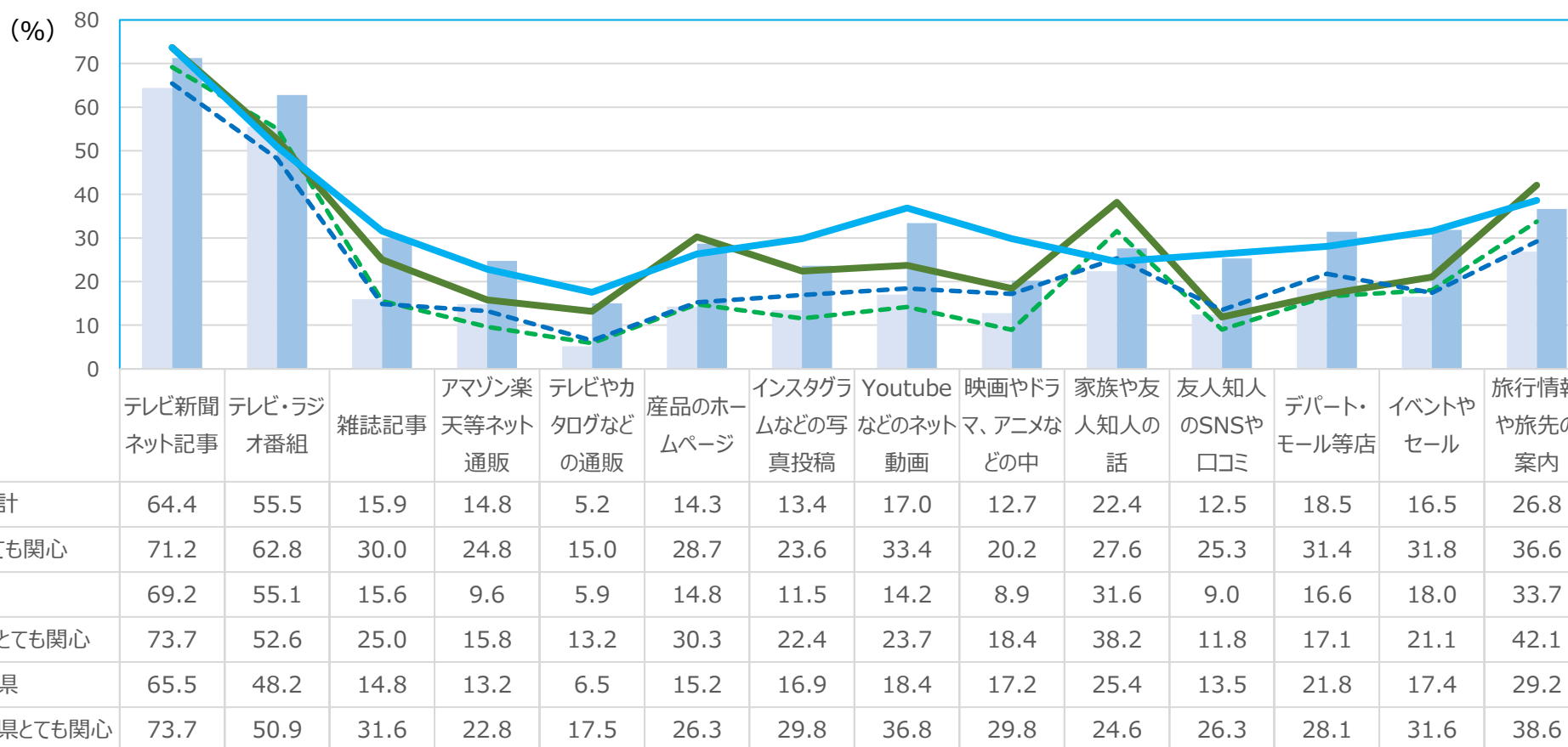


## 【Q4】考え方



- やはり記事や番組が高いが、旅行情報も続いて高い。とても関心を持ったターゲットでは、雑誌記事やホームページも高くなる。
- 県外の関心者では、Youtube等の動画も高い。

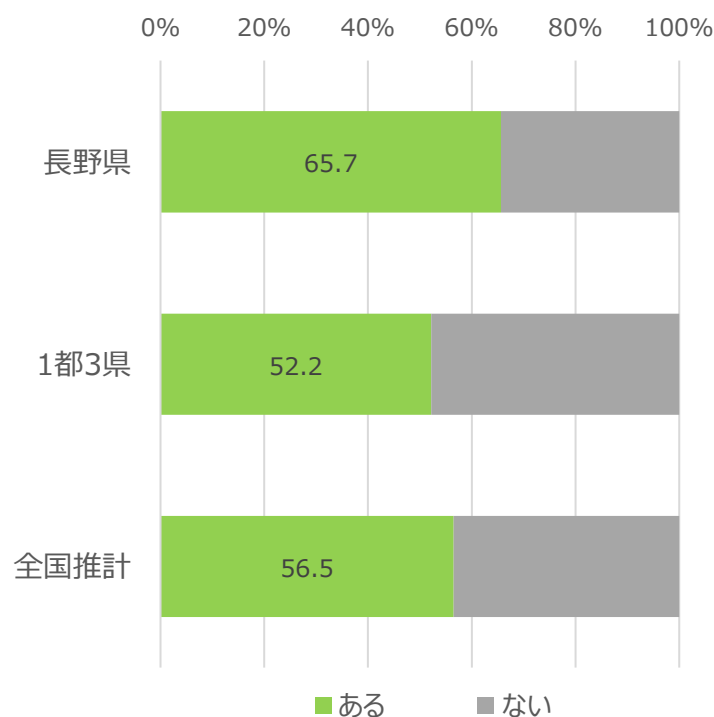
【Q16】伝統工芸品の接点・情報源



※信州の伝統工芸品の説明後の回答なので、県内の伝統工芸品が想起されやすいことが前提

- ・県外の伝統工芸品で最も多く印象に残っているのは、箱根寄木細工。今回、信州組子細工への関心が高かったことの一つの背景かもしれない。
- ・その他では、有田焼、輪島塗、南部鉄器と続く。

【Q17】覚えている・印象に残っている伝統工芸品の有無



【Q18】覚えている・印象に残っている伝統工芸品（自由回答）

県内	件数	県外	件数
木曾漆器	35	箱根寄木細工	27
飯田水引	26	有田焼	17
(奈良井) 曲わっぱ	17	輪島塗	15
松本家具	16	南部鉄器	12
猫つぐら	12	北海道木彫り	9
木曾材木工芸品	12	赤べこ	8
松代焼	9	琉球ガラス	7
戸隠竹細工	6	さるぼぼ	7
お六櫛	6	薩摩切子	7
あけび蔓細工	6	鎌倉彫	6
信州打刃物	5	伊万里焼	4
内山紙	5		
鳩車	4		
信州紬	4		
軽井沢彫	4		
飯山仏壇	4		

信州の伝統工芸に高い関心を持ってくれるターゲットの人たちに、どのようにアプローチするか？

県内でも知られていない産地が多いので  
まずは県内でよく接触されるメディアを通じて  
**県内各地の文化的な背景と合わせての紹介**  
**県内旅行に合わせた、産地訪問や体験の促しつつ**  
**信州人の信州の伝統工芸を応援したい**  
気持ちを実現し、盛り上げる活動にトライしたい。

県外に向けては、先行する個別産地の施策を支援しつつ  
個別産地の分析を踏まえ、**有効そうな組み合わせで**  
**動画やHPの情報提供の運営体制整備や**  
**産地来訪につながるイベントなどの施策を**  
トライアルで始めていくべき。